

## 年間第二十三主日（主日の福音を中心とする「霊的な読書」）

### （一）聖書朗読：マタイ 18：15 - 20

イエスは言われた：兄弟があなたに対して罪を犯したなら、忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人か徴税人と同様に見なしなさい。また、あなたがたは、地上で繋ぐことと解くことは、天上でもそうになる。あなたがたは心一つにして求めるなら、わたしの天の父は、それをかなえてくださる。二人または三人が私の名によって集まるところには、私もその中にいるのである。

### （二）カテキズムの響き：（『カトリック教会のカテキズム』の番号 # 553、1088、1444-1445、1829、2037、2055、2447; YOUCAT # 309、451、477）

イエスはペトロに「かぎの権能」をお委ねになりました。これは、教会という神の家を治めるための権威を意味します。また、お与えになった「繋ぎ、解く」権能は、罪をゆるし、教義上の判断を下し、教会の規律に関する決定を行う権威を意味します。確かに、ペトロに与えられたこの繋ぐ任務と解く任務が、自分の頭と一致する使徒たちの団体にも与えられました。繋ぐと解くという語は、あなたがたが共同体から退ける者は、神との交わりからも退けられ、あなたがたが再び共同体に迎え入れる者を、神もまたご自分との交わりに迎え入れるでしょう、という意味があります。教会との和解は、神との和解と切り離すことができません。したがって、教会との交わりに達するために、信者には神の救いの掟に関する教えを聞き入れる権利があります。また、教会の合法的権威が与えた法令と決定とを聞き入れる義務があります。たとえ生活規律に関する法令であっても、愛をもって素直に従うよう求められます。

この愛の掟は法律の充満であり、「神である主を愛しなさい」と「隣人を自分のように愛しなさい」という二つでありながら唯一の掟であります。愛の実は喜び、平和、憐れみです。愛は慈善と兄弟的忠告とを求めます。思いやりがあり、相互愛を生み、私欲を求めず、寛大です。それはまた、友情であり交わりです。愛の行為とは、慈善のわざであり、身体的、精神的に困っている人々を助けるためです。教え、助言し、慰め、励ますことなどは、許し、耐え忍ぶことなどと同じように、精神的な慈善のわざです。愛の実践によって、キリストはご自分の教会とともにおられます。特に、典礼に現存しておられます。教会が懇願し、賛美を歌う時にも、現存しておられます。二人または三人が主の名によって集まるところには、主もその中にいると約束されたからです。

### （三）カテキズムの学び（『コンペンディウム』カトリック・カテキズム要約の番号）

# 430 キリスト者の道徳生活と福音宣教

# 433 - 教会の教導職に従い、信じて生活の中で実践すべき信仰を述べ伝えることを守ります。

- 生き方によって、人々を真の神への信仰に引き寄せ、教会を建て、福音の精神で世界を形作り、神の国の到来を早めるからです。

最後の祈り：「神を愛する祈り」（『コンペンディウム』の付録 A、共通の祈りの参考）